

イ

様式第二号の九（第八条の四の六関係） (第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和4年 6月 30日

吹田市長 様

提出者

住所 大阪府吹田市山田丘1番1号
 氏名 国立大学法人大阪大学
 学長 西尾章治郎
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 06-6877-5111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和3年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

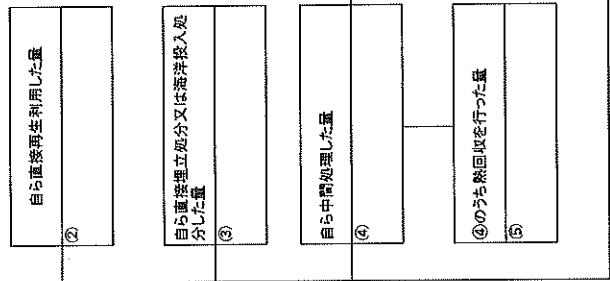
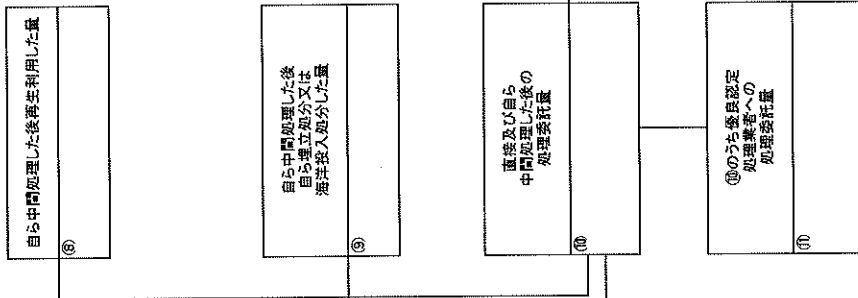
事業場の名称	国立大学法人大阪大学 吹田キャンパス
事業場の所在地	大阪府吹田市山田丘
事業の種類	81:学校教育
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	5924.087 t	全処理委託量	5924.087 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	5875.848 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(産業廃棄物の種類)

別紙3のとおり



有償物量

不要物等発生量

排出量

項目	実績値
①排出量	
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
②+③ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	
⑩①専長認定処理業者への処理委託量	
⑩②再生利用業者への処理委託量	
⑩③熱回収認定業者への処理委託量	
⑩④熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(令和3年度実績)

産業廃棄物の種類	①排出量	計 画 の 実 施 状 況										④+⑤ ④+⑥					
		②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	④のうち熱回収を行った量(自ら熱回収を行った量)	⑤自ら中間処理した後の残存量	⑥自ら中間処理により減量した量	⑥自ら中間処理した後再生利用した量	⑥自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量	⑦直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(全処理委託量)	⑦のうち優良認定処理業者への処理委託量(優良認定処理業者への処理委託量)	⑦のうち再生利用業者への処理委託量(再生利用業者への処理委託量)	⑦のうち熱回収認定業者への処理委託量(熱回収認定業者への処理委託量)	⑦のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量)	④+⑤ 自ら再生利用を行った量	④+⑥ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
コード	名称																
0200	汚泥	18.357						0.000				18.357	17.257			0.000	0.000
0210	有機性汚泥	26.401						0.000				26.401	0.001			0.000	0.000
0220	無機性汚泥	0.001						0.000				0.001	0.001			0.000	0.000
0300	廃油	21.420						0.000				21.420	21.420			0.000	0.000
0311	鉱物性油	0.090						0.000				0.090	0.090			0.000	0.000
0400	廃酸	12.750						0.000				12.750	12.750			0.000	0.000
0401	写真定着液	0.020						0.000				0.020	0.020			0.000	0.000
0500	廃アルカリ	24.603						0.000				24.603	24.603			0.000	0.000
0600	廃プラスチック類	3,161.980						0.000				3,161.980	3,161.980	2.630		0.000	0.000
1200	金属くず	3,032.131						0.000				3,032.131	3,032.131			0.000	0.000
1300	ガラスくず等	245.582						0.000				245.582	245.582			0.000	0.000
1310	ガラスくず	4.520						0.000				4.520	4.520			0.000	0.000
1322	石膏ボード	0.600						0.000				0.600	0.600			0.000	0.000
1501	コンクリート破片	24.500						0.000				24.500	2.960	21.540		0.000	0.000
2100	安定型混合廃棄物	301.540						0.000				301.540	301.540			0.000	0.000
2510	電池類	5.883						0.000				5.883	5.883			0.000	0.000
2520	照明機器	4.396						0.000				4.396	4.396			0.000	0.000
2560	水銀回収義務付け製品(計測器)	0.018						0.000				0.018	0.018			0.000	0.000
2561	水銀体温計	0.006						0.000				0.006	0.006			0.000	0.000
2562	水銀式血圧計	0.086						0.000				0.086	0.086			0.000	0.000
								0.000								0.000	0.000
								0.000								0.000	0.000
								0.000								0.000	0.000
合計		6,884.884	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	6,884.884	6,835.844	21.540	2.630	0.000	0.000

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。
 ※数量に就いては、小数点以下3桁表示として記入してください。
 様式第二号の九の第2面に記載された産業廃棄物の発生から処理までのフロー(①~⑧)に示す量を表に入力。